

## 社会科における GIGA 端末を活用した授業展開



日 時：令和3年11月9日（火）13:50～14:35

場 所：4年教室

対 象：4年A組 児童26名

授業者：富塚 匠 教諭

### 1 戸沢村立戸沢学園の特徴

学級数：16（9+7）学級、児童・生徒数237（150+87）名、教員数31名

平成25年4月に新制の戸沢村立戸沢小学校・戸沢村立戸沢中学校となり、平成29年4月に校舎一体型小中一貫校として開校した後、義務教育学校「戸沢村立戸沢学園」として開校した。

学習用タブレットを1人1台ずつ、電子黒板を普通教室に1台ずつ配備し、電子黒板では、各教科のデジタル教科書も使用できる。初等部ではジャストスマイル、中学校ではeライブラリをドリル学習に活用している。児童・生徒にMicrosoft365のアカウントを1人1アカウント付与し、振り返りの共有や授業での考えの発表などに、Microsoft Teamsを活用している。また、授業でGoogle フォームを活用し、リアルタイムで児童・生徒の振り返りを把握している。校務支援ソフトとして学校用グループウェア「ミライム」を導入し、職員への連絡のペーパーレス化や、出退勤時刻の管理など、働き方改革にもつながっている。

### 2 研究主題

学力の定着・向上 ～情報活用能力の育成を通して～

### 3 単元名・目標

単元名：「ごみのしよりと利用」

(1) 自分たちの生活に廃棄物の処理が欠かせないことを理解し、廃棄物の処理の経路を見学・調査をもとに整理することができる。 (知識及び技能)

(2) ごみの分別方法や処理方法の違いから、問いを見出し、自分の考えを表現できる。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 学習したことをもとにごみ問題について、自分なりに取り組もうとする態度を養う。

(学びに向かう力、人間性等)

### 4 単元計画（全16時間 本時12時間目）

① わたしたちの生活の中で、いつ、どこで、どのようなごみがでるのか。（3時間）

ICT：デジタル教科書、NHK for School

② 出たごみはどこに運ばれ、どのように処理されるのか。（7時間）

ICT：NHK for School、タブレットで見学してきたことをまとめる。

③ ごみを減らすためにわたしたちはどんなことができるのか。（6時間）

ICT：デジタル教科書、インターネットでの調べ学習、PowerPoint

### 5 主に活用した機器・コンテンツ

・1人1台タブレット ・大型提示装置 ・Microsoft Teams ・PowerPoint

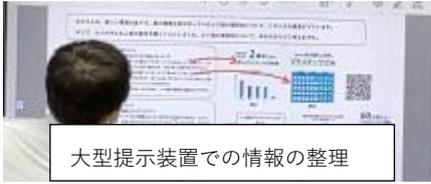
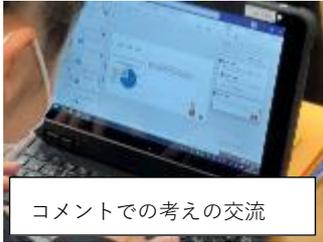
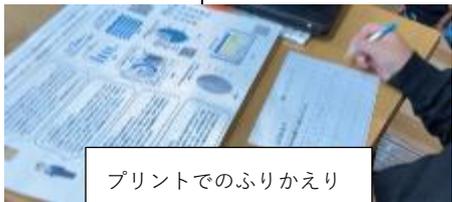
## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

「レジ袋の有料化」について、資料を読み取り、根拠をもとに、自分の考えを表現している。

(思考力・判断力・表現力等)

### (2) 指導過程

時間※ <sup>1</sup>	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※ <sup>2</sup>
導入 5分 一斉 A 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時までの学習をふりかえる。</li> <li>●レジ袋の有料化の是非についてのニュースを紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題や配布資料の大型提示装置により提示する。</li> <li>○PowerPoint を活用し、自分の考えを簡潔にまとめさせる。</li> </ul>  <p>大型提示装置での情報の整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型提示装置</li> <li>・1人1台タブレット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A2①eステップ2 観点を決めた表やグラフを用いた情報の整理の方法</li> <li>・C1①bステップ2 新たな視点を受け入れて検討しようとする。</li> </ul>
展開 35分 一斉 A 1 個別 B 1 B 4 協働 C 1 C 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前時までに配布した資料をもとにレジ袋の有料化を続けるか否か、自分の考えをまとめる。</li> <li>・自分の考えを Power Point でまとめよう。</li> </ul>  <p>コメントでの考えの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出た意見を発表する。</li> </ul>  <p>板書による考えの可視化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の読み取りはペアやグループで行う。</li> <li>○補助資料をタブレット上に準備し、いつでも見ることができるようにする。</li> <li>○Teams を活用し、全員の考えを可視化する。</li> <li>○選んだ根拠を説明することができたか。</li> <li>○どちらを選んでもメリットやデメリットがあることを示し、ごみを減らすための取り組みの難しさを理解できるようにする。</li> <li>○レジ袋の有料化について、自分の考えを持ち表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型提示装置</li> <li>・1人1台タブレット</li> <li>・Microsoft365</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A2①dステップ2 情報の比較や分類の仕方</li> <li>・B1ステップ1 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる。</li> </ul>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今日の授業で考えたことをふりかえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふりかえりをプリントに書きせ、自分の考えを整理させる。</li> </ul>	 <p>プリントでのふりかえり</p>	

※1 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例 (IE-School における指導計画を基にステップ別に整理したもの)】(令和元年度版)全体版」に基づく表記を示す。

## 7 県教育センター所感

(1) 導入で、大型提示装置を有効に活用することで、情報量の多い配付資料を整理しながら共有することができました。また、情報とグラフを結び付けながら読み取ることで、社会的事象に関する情報の読み取る技能の育成につながったのではないのでしょうか。

(2) 展開では、多面的・多角的に考察するための多様な資料を、クラウドの活用により整理しながら調べることができました。また、共有とコメント機能を使い、児童同士の考えの交流が活発に行われておりました。

PowerPoint で自分の考えをスムーズにまとめていた様子から、学校全体で計画的に情報活用能力を育成することで、GIGA 端末が普段使いの文具となっていることがよくわかりました。

(3) まとめで、Google フォームなどを活用して振り返りをしてみてはいかがでしょうか。学習記録を整理して残すだけでなく、共有・交流し、振り返りを充実させることで、児童が次時の課題に主体的に取り組むことにつながるかもしれません。